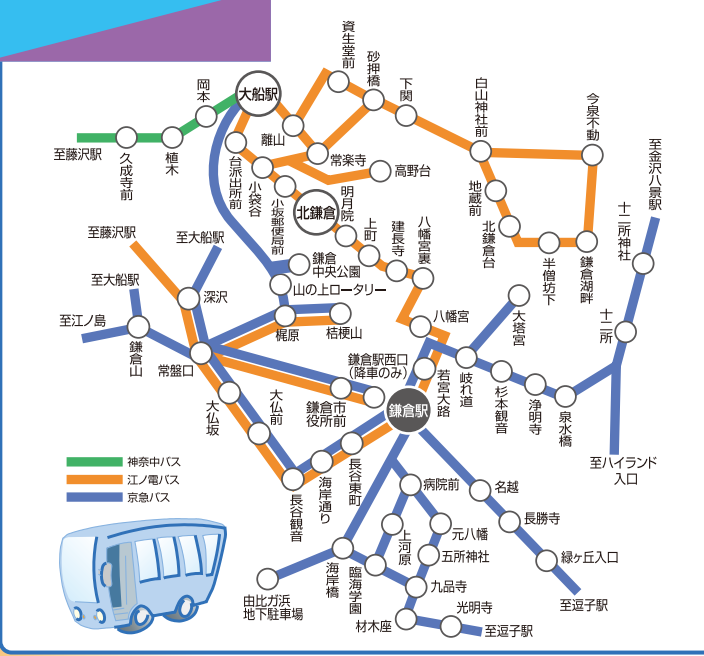


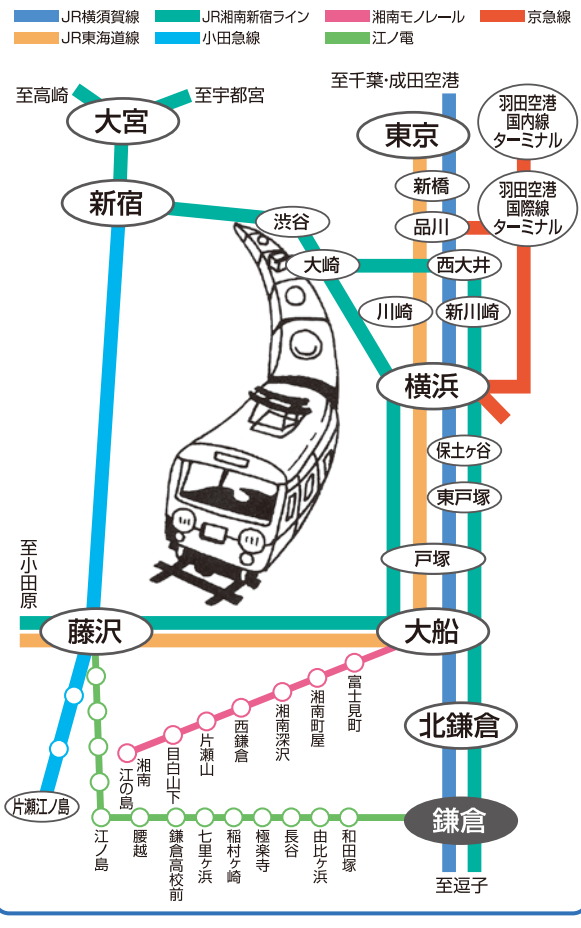
ACCESS

主要路線バス案内図



- 大船駅バス東車案内
 - ①東横線(京浜東北線) 高徳院(大仏)、長谷寺(長谷観音)方面
 - ②東横線(京浜東北線) 鎌倉山、高徳院(大仏)、長谷寺(長谷観音)方面
 - ③東横線(京浜東北線) 山手山、散在が池(鎌倉湖)方面
 - ④東横線(京浜東北線) 常楽寺、北鎌倉駅、建長寺、鶴岡八幡宮、高野台方面
 - ⑤東横線(京浜東北線) 鶴岡山方面
- 鎌倉駅西口バス東車案内
 - ①東横線(京浜東北線) 長谷寺(長谷観音)、高徳院(大仏)方面
 - ②東横線(京浜東北線) 鶴岡八幡宮、建長寺、北鎌倉駅方面
 - ③東横線(京浜東北線) 名越、長勝寺方面/江ノ電定期遊覧バス
 - ④東横線(京浜東北線) 延光寺神社、鎌倉西方面
 - ⑤東横線(京浜東北線) 常楽寺、北鎌倉駅、建長寺、鶴岡八幡宮、高野台方面
 - ⑥東横線(京浜東北線) 長谷寺(長谷観音)、高徳院(大仏)、鎌倉山方面
 - ⑦東横線(京浜東北線) 九谷寺、材木座海岸、光明寺方面
- 鎌倉駅西口バス東車案内
 - ①東横線(京浜東北線) 高徳院(大仏)、長谷寺(長谷観音)方面
 - ②東横線(京浜東北線) 鎌倉山、高徳院(大仏)、長谷寺(長谷観音)方面
 - ③東横線(京浜東北線) 山手山、散在が池(鎌倉湖)方面
 - ④東横線(京浜東北線) 常楽寺、北鎌倉駅、建長寺、鶴岡八幡宮、高野台方面
 - ⑤東横線(京浜東北線) 鶴岡山方面

鎌倉までの交通アクセス



フリーきっぷ

電車でも車でもお得！
鎌倉散策に大活躍する！！

鎌倉フリー環境手形

JRでアクセスする人におすすめ

A 頼朝きっぷ
大人550円 小人280円
鎌倉観光の定番、大仏周辺と北鎌倉をカバー

B 義経きっぷ
大人500円 小人250円
小田急電鉄江ノ電・鎌倉フリーバスとセット販売

頼朝・義経きっぷのフリー区間

フリー区間が広がるほどお得です。

- 江ノ電フリー区間 Aのみ
- 江ノ電フリー区間 Bのみ
- バスフリー区間 Aのみ
- バスフリー区間 Bのみ

文化

鎌倉の風土や歴史に育まれた文化にふれる…

鎌倉文学館

この文学館の建物は、加賀百万石の藩主で知られた旧前田侯爵家の鎌倉別荘の外観を残しています。文学者の直筆原稿・愛用品・著書など多くの文学資料を所蔵し、古典から現代までの鎌倉ゆかりの文学を紹介する常設展と、年3回程度の企画展を開催しています。

鎌倉国宝館

関東大震災で重要な文化財が被災したことを教訓に、昭和3年に開館した歴史・美術の博物館で、技藝造りを模した建物が特徴的です。鎌倉地方の彫刻・絵画・工芸・書跡・古文書・考古資料など多くの文化財を展示・保管しており、常設展示や年6回程度の特別展を開催しています。

鎌倉市川喜多映画記念館

映画の発展に大きく貢献した川喜多長政・かじ夫妻の旧宅跡に開館した施設で資料の展示、映画上映や講演会などもお楽しみいただけます。かつての面影をそのまま復元した板扉、平屋建ての和風建築、緑豊かな庭園と周囲の環境に調和した建物で古都鎌倉の落ち着いた雰囲気をかもし出しています。

神奈川県立近代美術館 鎌倉

鶴岡八幡宮境内に立つ近代美術館は、約9,500点の所蔵品を持ち、魅力的な企画展を行なっています。鎌倉絵巻、鎌倉官制とともに、2003年秋、葉山一色の海辺に開館した葉山館を含め3つの建物で活動しています。鎌倉館は、ル・コルビュジエの愛子館、建築家坂倉準三の設計として有名です。

ハイキングコース

この美術館は、近代日本画の巨匠簗木清方画伯の終焉の地、鎌倉雪ノ下の旧居跡に建てられました。古く鎌倉の閑静な住宅地の中に、和風建物が端正なたたずまいをみせています。簗木清方は、多くの優れた作品を描き、昭和21年から鎌倉に住みました。抒情性豊かな女性の姿や、いきいきとした庶民生活を題材として描かれた作品は、市井の人々への共感や慈愛のまなざしが感じられます。

当植物園では、園内に約5,700種・品種の植物が、四季折々に美しい花を咲かせています。また、季節に応じた各種展示や、園芸教室、園芸相談なども随時開催しています。

鎌倉彫

鎌倉彫が作られるようになったのは、今から800年ほど前で、武家政治の中心となった鎌倉は、宋から伝えられた禅宗が広まり数多くの禅宗寺院が建てられました。それと共に禅僧による中国との交流も深まり、たくさんの文物が入ってきます。中に、堆朱・堆墨と呼ばれる、漆を何回も塗り重ねた厚い層とし、その漆の層に彫刻した彫漆工芸品がありました。当時の仏師や宮大工たちは、これと同じようなものを作ろうとして、木に直接文様を彫刻して漆を塗る方法を考え出しました。これが鎌倉彫のはじまりです。伝統的工芸品である鎌倉彫は、現在、市内の鎌倉彫の店で、盆、茶托、菓子器、鏡など様々な華麗な作品が作られています。

パーク&ライド

普通自転車の駐車料金をフリーきっぷにセットしたお得なプラン！

●駐車料金をフリーきっぷが付いた格安プラン
●おもな寺社拝観料、観光スポット入館料の割引
●協賛店で特別サービス

七里ガ浜パーク&レールライド 1500円
5時間を越えた場合、200円
30分の追加料金が必須
駐車料金を別で定めてお出し
※乗車1台のシステム料金

由比ガ浜パーク&レールライド 1600円
4時間を越えた場合、200円
30分の追加料金が必須
駐車料金を別で定めてお出し
※乗車1台のシステム料金

江ノ島のパーク&レールライド 1500円
5時間を越えた場合、200円
30分の追加料金が必須
駐車料金を別で定めてお出し
※乗車1台のシステム料金

箱村ガ崎パーク&レールライド 1800円
6時間を越えた場合、300円
30分の追加料金が必須
駐車料金を別で定めてお出し
※乗車1台のシステム料金

パーク&ライドのシステム

STEP.1 指定の駐車場
指定の駐車場に車を停める
(画面の地図参照)に車を停める
駐車料金をフリーきっぷのスポットを
選ぶ(パーク&ライド)後、車庫に駐車し、
フリーきっぷを返却する。

STEP.2 駐車券をもらってシステム利用の申込みをする
駐車券を駐車管理事務所や江ノ電の駅で
選んだパーク&ライドのシステム利用の申込み
をする。フリーきっぷを返却する。

STEP.3 きっぷをもらって、江ノ電、シヤトルバスでGO!
由比ガ浜地下駐車場からは江ノ電またはシヤトル
バスを利用、その他の駐車場は江ノ電を利用して
出発。フリーきっぷで乗り分、観光を楽しもう。

注意

- 駐車時間超過は追加料が必要
- 駐車料金を超過した場合は追加料金の必要がある。また、駐車時間超過を過ぎると駐車料金は翌日に
なるので注意しよう。
- 乗車料金の利用可能、二輪車は利用できない。
- 本館には毎日利用可能だが、7月1日～8月31日(1～6日)は休館期間のため、システムは利用できない。
※由比ガ浜パーク&ライドは、上記期間に追加して7月1日～3日だけシステムは利用可能。

歴史

源頼朝が鎌倉幕府を開いたことで脚光を浴びた鎌倉…
寺を訪ねながら歴史を思い起こしてみたいかが。

鶴岡八幡宮

康平6年(1063)に源頼義が由比郷鶴岡に京都の石清水八幡宮を勧請したのが始まりで、治承4年(1180)に源頼朝が鎌倉の中心にまつため、現在の地へ移したものです。その後、頼朝が建久3年(1192)に征夷大将軍となり、頼朝による鎌倉のまちづくりは鶴岡八幡宮を中心に行われました。今でも、本宮への階段を上がると海を背景とした鎌倉のまちが望めます。石段上がった所にある楼門には随神像が安置され、現在の本殿は11代将軍徳川家斉の命により文政11年(1828)に造られたのです。参道にあたる「段葛」は頼朝が妻、政子の安産を祈願して建設たと伝えられています。

鎌倉五山

官が任命した住持を順次上位の寺へ昇任させる五山の制度は、中国の風をならったものです。鎌倉五山は建長寺、円覚寺、寿福寺、浄智寺、浄妙寺の五つの寺をいいます。いずれも臨済宗の禅刹で、至徳3年(1386)に足利義満により、この順位が定められたといわれています。

建長寺
臨済宗建長寺派の大本山で鎌倉五山の第一位です。北条時頼が建長5年(1253)に宋から高僧蘭溪道隆(大覚禪師)を招いて創建しました。境内は国指定史跡で、梵鐘は国宝に指定されています。

円覚寺
臨済宗円覚寺派の大本山で鎌倉五山の第二位です。文永・弘安の役の戦死者を慰霊するため、北条時宗が無学祖元(仏光国師)を招いて弘安5年(1282)に創建しました。境内には、国宝の梵鐘や舍利殿などがあります。

寿福寺
鎌倉五山の第三位で、正治2年(1200)に北条政子(明憲)が明憲を招いて、頼朝の父、義朝ゆかりの土地に創建しました。墓地には、実朝、政子の墓と伝えられる五輪塔があります。(中門まで拝観可能)

浄智寺
鎌倉五山の第四位で、北条時頼の孫、時頼が弘安4年(1281)に創建しました。仏殿には阿弥陀・釈迦・弥勒の三世仏坐像が安置され、総門脇には鎌倉十井の一つである甘露井があります。

浄妙寺
鎌倉五山の第五位で、文治4年(1188)に足利義満が開創、開山は道行行勇と伝えられています。足利尊氏の父、貞氏が中興開基で、墓地には貞氏の墓と伝えられる宝篋印塔があります。

鎌倉

はり絵/船水善昭

観光全般の問合せ
鎌倉市役所観光課 TEL.0467-23-3000
(社)鎌倉市観光協会 TEL.0467-23-3050

観光全般及び宿泊施設の問合せ
鎌倉市観光案内所 TEL.0467-22-3350

鎌倉彫の問合せ
伝統鎌倉彫事業協同組合 TEL.0467-23-0154

鎌倉市観光課ホームページアドレス
http://guide.city.kamakura.kanagawa.jp
(携帯サイトは末尾が.jp/i)

(社)鎌倉市観光協会ホームページアドレス
http://www.kcnnet.org/kamakura/

編集・発行 / 平成23年9月 鎌倉市民経済部観光課
〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号
印刷・地図 / (株)エイエイビー



The History of Kamakura

高徳院(大仏)
大仏は青銅製で、高さ11.31mあり、建長4年(1252)に铸造が始められましたが、完成の年次ははっきりしていません。当時は、大仏殿に安置されていたが、大風や津波で倒壊し、現在は露座となっています。境内には、与謝野晶子が大仏を美男と詠んだ歌碑があります。

瑞泉寺
嘉暦2年(1327)に鎌倉幕府の重臣、二階堂道義が建てた瑞泉院を足利氏氏が中興したもので、鎌倉五山に次ぐ第四位の名を連ねる格式を持つ寺です。仏殿の背後には、夢窓疎石の作と伝えられる庭園があります。紅葉ヶ谷という地名のとおり紅葉は美しく、また、花の寺としても親しまれています。

長谷寺
鎌倉時代以前からあると伝えられる古寺です。本尊の十一面観音は高さが9.18mあり、木造では日本一の大きさといわれています。境内からは由比ヶ浜が見晴らせ、宝物館には、文永元年(1264)の銘のある梵鐘や、元徳・嘉暦の銘のある懸仏などがあります。

銭洗弁財天
巳の年の文治元年(1185)の巳の月、巳の日に源頼朝の夢のお告げで建てられたと伝えられており、鎌倉五名水の一つである銭洗水が有名です。お参りしてこの水でお金を洗って使ったと増えて戻ってくるという伝説があり、巳の日の縁日には参拝者が賑わいます。